

茨城空港整備事業に関する調査研究 報告書

～利用者100万人構想と地域活性化を目指して～

ご 挨拶

(社)中小企業診断協会 茨城県支部

支部長 安 四 郎

県内経済は、総じて輸出主導による堅調な生産活動や好調な設備投資に支えられ、穏やかな景気回復が続いていると判断されております。しかしながら、経営資源に限りのある多くの県内中小企業は、原材料価格の上昇等のコスト増加をはじめとした厳しい経営状況下で景況感が大幅に悪化しているものと推測をしているところでもあります。「地方の時代」が叫ばれる今こそ、地域はその地域の特性を活かした、地域独自の活性化策の推進が不可欠であり、その上で、我々、中小企業診断士が、地域の課題克服のため、その技能や実践的活動を高めていく事が、大変重要であると考えています。

さて、毎年実施しております「調査研究事業」ですが、厳しい経営環境が続くなかで、

① より地域の経済活性化につながる事

② 中期的な我々診断士の研鑽やその上に立脚した地域貢献が可能なもの

という視点で、本年のテーマを平成22年3月に開港（予定）に向けて、茨城県が国、関係機関と連携し本格的な整備に着手開始した、ビッグプロジェクト「茨城空港」を取り上げ、

(1) 空港の利用促進策～いかににより多くの利用者を招き、利用促進を図るか～

(2) 地域活性化と中小企業診断士の役割

を切り口として調査研究を重ねて参りました。

県としても、19年秋に空港対策室から空港対策課へ組織が拡大変更され、また旅客ターミナルビル営業者に(財)茨城県開発公社が決定されたばかりという、実施に向けた本格スタートを切った、先のハッキリ見えぬ「これから」という状況での本事業推進であり、調査が難航いたしました。そこで、診断業務の原点に戻り、①現場主義（情報収集、現地視察）②市場調査（アンケートによる調査等）の徹底を図り、限られた情報の中で、より密度の濃い提言が出来る様、精一杯取り組んで参りました。

結論としては、「茨城空港」開港が、他には無い地域活性化の大きなチャンスと捉え、その前提となる「利用客100万人構想」と、これから準備の段階から始められる地域活性化策の推進、そして、それに関わる我々診断士の役割を提言としてまとめ上げました。

今後は本調査研究事業をスタートとし、支部会員一同が地域に生き抜く診断士として、茨城空港開港をはじめ地域活性化に向け貢献出来る様、研鑽を重ねていきたいと思っております。

最後になりましたが、本調査に対してご協力頂いた多くの関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。また、粘り強く本事業をまとめ頂いた、調査委員会メンバー 金子康之リーダー、本田孝委員、秋野哲也委員、川又昭宏委員のご尽力に対し感謝申し上げます、その労をねぎらいます。

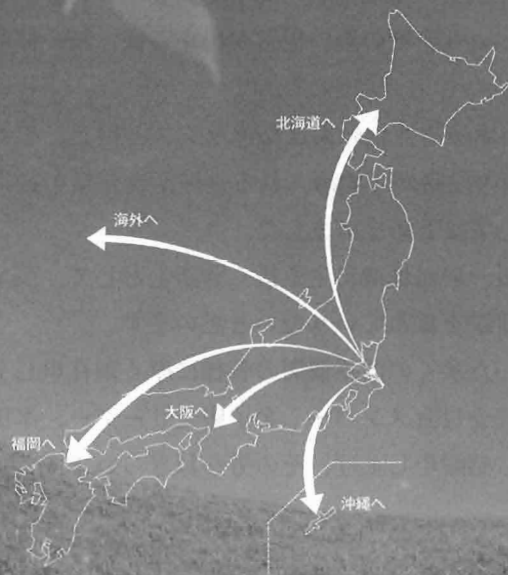
平成21年度開港へ

茨城空港

IBARAKI AIRPORT

新しい空の玄関「茨城空港」が、
今その扉を開こうとしています。
この扉から、たくさんの人や物が行き来し
笑顔の輪はどんどん広がっていく。
茨城空港は、日本中をそして世界を結ぶ
未来への架け橋です。

首都圏の新しい玄関、今、ひらく。

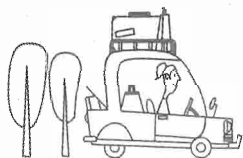


アクセス充実、あっという間に空港へ
渋滞知らず、重い荷物も気になりません

無料 駐車場から
ダイレクトに
ターミナルビル内へ
何日停めても大丈夫です
誰も迷わず安心です



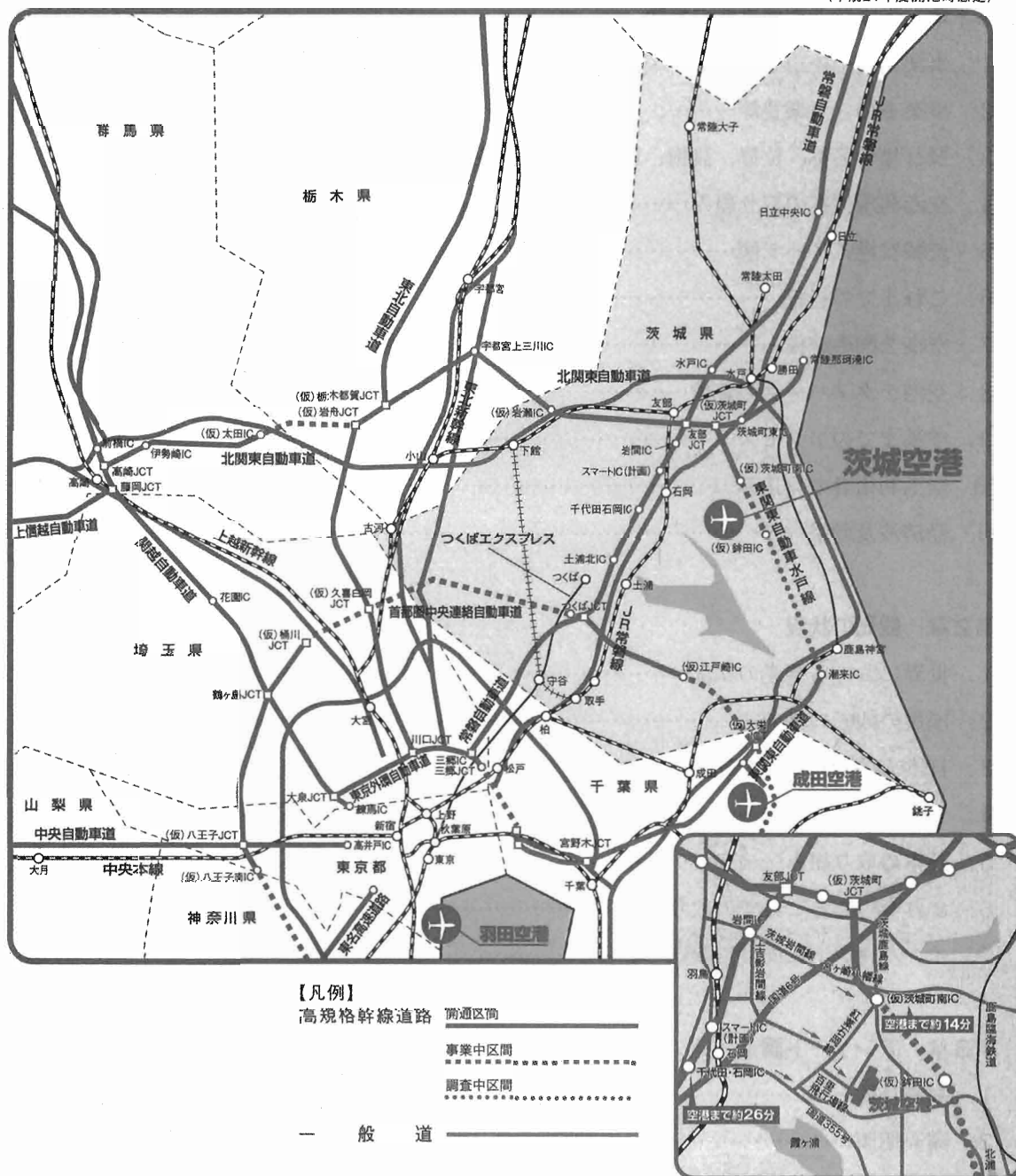
手続きスムーズ、いざ空の旅へゴー
茨城空港はあなたの旅のパートナー



充実した道路アクセス網。

- 北関東自動車道……………平成21年度に東北自動車道、平成23年度に関越自動車道と接続
- 東関東自動車道水戸線……(仮称)茨城町JCT～(仮称)茨城町南ICが平成21年度開通

(平成21年度開港時想定)



茨城空港

茨城県企画部 空港対策課

茨城空港のホームページ

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2761 FAX:029-301-2749

E-mail:airport@pref.ibaraki.lg.jp

http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kuko/